



豊中市教育センター

〒560-0033 豊中市蛍池中町 3-2-1-600

TEL 06-6844-5290

FAX 06-6840-8127

平成25年(2013年)10月25日 第59号

『子どもの力』

今年もすでに多くの小中学校で運動会、体育祭が行われた。子どもたちは暑い中、徒競走、団体競技、その他にも応援合戦や紅白・クラス対抗リレーなど、真剣な眼差しや姿を見せてくれた。仲間とともに本気になり、支え合い、元気いっぱい力を出し切る。一人ひとりにとってよき思い出として胸に刻まれる、そんな運動会・体育祭になったのではないだろうか。支援学級に在籍する子どもたちも、先生や同級生に支えられ、目標をクリアすべく、一生懸命競技に参加していた。

そんな中での玉入れ競技でのひとこま。彼の車いすには、アームの部分が設置され、玉入れの玉を回収できるように改良されていた。聞けば、子どもたちが、試作を経て工夫したものとか。また、団体競技の際には、応援にまわる彼の車いすに、ミニチュア版クラス団旗が掲げられていた。これらは、子どもたちが自ら『一緒に』という思いから導き出したアイデアなのだそう。

『ともに学びともに育つ』同じ空間で学んでいる子どもたちは、互いの個性を認め合い、そこから、学び得るものが大きいことは容易に想像できる。

では、一人ひとりの個性を引き出し、伸ばすために、どのように支援していくことがよいのか。

願う子ども像の実現に向かって、日々の実践の中で、結果を考察・評価し、見直し、再度実践する。そうした積み重ねが子どもたちの力・学びになるのだとあらためて感じた。子どもたちが繋がることや個の力を伸ばすことは難しいが、生き生きとした表情を見るとやっぱりうれしい。『頑張ろう!』という気持ちになれる。



第59回 理科展を開催しました

9月13日～18日まで豊中市立小・中学生理科展を開催しました。今年度も、夏休みの自由研究作品として小中学校合わせて9469点もの作品が制作されました。

理科展では、その中から各学校の力作486点が所狭しと展示され、多くの来場者は熱心に研究の成果を見学していました。

他校の児童生徒の作品に触れることで刺激をうけ、これからの研究の意欲を高めている子どもたちの姿が印象的でした。





夏季休業中実施研修 参加ありがとうございました

教育センターではこの夏、92の研修を実施しました。参加者は述べ2,093人。授業づくりや子ども理解、学校運営などの研修を通してさらに学びを深めていただけたと思います。また、豊能地区で行われた相互交流研修へ参加も増えてきています。

研修の感想より

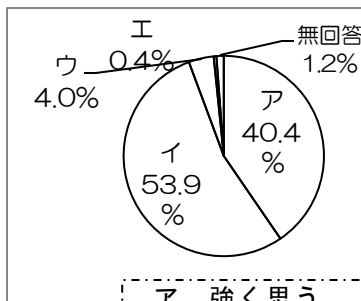
子どもをつなぐには話し合い以外で、楽しみながらつなぐ手立てがあることが分かった。今日したワークをそれなりに取り入れていきたいです。ありがとうございました。（教育相談基礎研修より）

言語活動を取り入れかたの一つの方法として大変勉強になりました。社会が不得意な児童に対して、どのように参画させるか参考になりました。（教科領域研修・社会より）

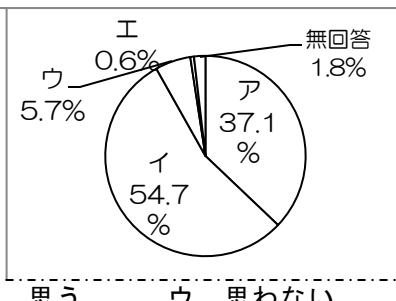
校内での研修のありがたについて、いろいろ学べるものをいただいたので、今後活かしていきたいです。『答えは仲間の中にある』という言葉が心にしみました。（ミドルリーダー研修より）

研修の満足度

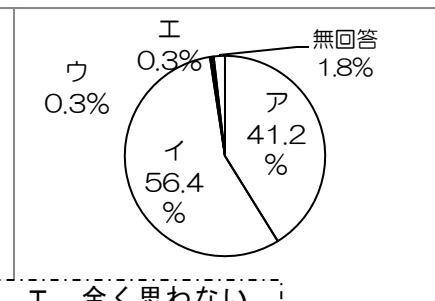
期待や要望に応えているか



内容は充実しているか



今日の教育課題に応えているか



ア. 強く思う イ. 思う ウ. 思わない エ. 全く思わない



豊中「マチカネ先生塾」開講！

今年度から、豊中市の教員を目指す大学生を対象に、豊中「マチカネ先生塾」がスタートいたしました。第1期生として31名の研修生を受け入れ、土曜日の午後に年間20回の講座を実施するとともに、小中学校で教員の仕事を体験する実地実習に取り組んでいます。



講座は、ミニ模擬授業など、教員の基本的な資質を高めることを目的に、演習を中心とした内容で進めています。研修生は、お互いに切磋琢磨しながら学んでいます。



6月8日（土）に開講式を行いました。研修生は緊張した面持ちでメモをとっていました。後半は、クラス開きに使えらるゲームやエクササイズについて学びました。



第7回の講座は、服部緑地にある民家集落博物館で行い、校外学習を実施するポイントについて、実践的に学びました。研修生が豊中の教員として活躍する日が楽しみです。



科学教室 理科展各賞の作品紹介と表彰式について

理科展の期間中の土曜、日曜には、第三中学校理科部、第四中学校、第十一中学校、第十四中学校の自然科学部の皆さんや近隣の高等学校の科学系クラブが科学教室を開きました。各校の科学ブースには、たくさん子どもたちが集まり科学体験を楽しみました。



理科展の展示作品の中から、校種別に6点を選び、豊中市の代表作品として大阪府学生科学賞に応募します。作品は、大阪府教育センターで10月19日(土)に10時から15時まで展示されました。

また、豊中市独自の賞として、大阪大学と連携して二年前に創設されました「大阪大学総合学術博物館長賞・待兼山賞」並びに「豊中市教育センターあすなる賞」も選出されました。

これらの賞の表彰式を12月7日(土)14時から当教育センターで行います。表彰式では、受賞者による作品のプレゼンテーションや大阪大学の豊田二郎先生によるご講演を予定しています。是非、ご来場ください。

大阪府学生科学賞応募作品		小学校 全5377作品(うち理科展 385作品)	
作品名	学校名	学年	名前
鳥の翼模型の滑空能力	大池小学校	5	張 琳華
蚊のささやき	庄内小学校	6	谷岡 将吾
ナミアゲハのサナギの中身の変化	庄内西学校	5	三木 隆哉
ミカドミンミンゼミの調査2	泉丘小学校	6	黒川 宗一郎
植物の不思議な力	野畑小学校	6	笹木 樹
飛行機はなぜ飛ぶのか	新田南小学校	6	佐藤 杏優
バス外ラス	第五中学校	2	藤村 祐理子
千里川を調べよう パート2	第十一中学校	1	島谷 勇輝
軟水と硬水の研究	第十一中学校	2	本田 未来
オオゴキブリの研究	第十六中学校	2	近藤 忠仁
黄鉄鉱の成長	第十六中学校	1	佐藤 尚昭
ニワトリの骨格標本	第十八中学校	1	池嶋 公平

大阪大学総合学術博物館長賞			
作品名	学校名	学年	名前
鳥の翼模型の滑空能力	大池小学校	5	張 琳華
カメの体内での出来事	第一中学校	1	大仁 賢人

大阪大学総合学術博物館待兼山賞			
作品名	学校名	学年	名前
生き物発見! 図鑑	新田小学校	6	野崎 大誠
オオゴキブリの研究	第十六中学校	2	近藤 忠仁

豊中市教育センターあすなる賞			
作品名	学校名	学年	名前
野菜鉄砲	上野小学校	4	辻 健人
ガの鱗粉	第十三中学校	1	植松 圭吾
汚染水の影響	第十五中学校	1	網本 栄美

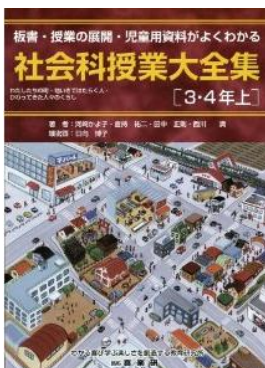


8/9(金)夏季教職員研修、研究協力員中間報告会

8月9日アクア文化ホールにて夏季教職員研修を実施しました。歌人の道浦母都子先生をお招きし、「ことばの力~たましいを運ぶ舟~」という内容で講演いただきました。155名の参加者があり、道浦先生の穏やかな語り聞き入り、心癒されていました。また、アンケートには『美しい日本語を話せる教師でいたいと思った。』『言葉の重みを改めて感じる事ができた。』などの声が寄せられました。



また、午後からの研究協力員中間報告会では、小学校外国語活動・中学校外国語、小学校算数から中間報告があり、豊中市教育アドバイザーの小川典子先生に指導講評をいただきました。授業力向上のヒントを得て、さらに授業研究を深めていただけたと思います。



国語科教育に特別支援教育の視点を取り入れ、全員がわかる・できる具体的な指導法を提案するシリーズ。

新刊
図書



授業をするために最低限必要な知識、掲示用資料、子どもに渡す資料などを収録した、便利な授業書。



指導の実際を示し、授業場面で子どもの学びに寄り添いながら、授業技術をどのように駆使していくのかについて具体的に表すことに挑戦。

保護者とのよりよい関係を築くために

2学期も半ばになり、子どもたちへの理解もより深まってきた頃でしょう。その中で子どもの様子で気になることがあった時、クラスで何かトラブルがあった時、保護者と連絡を取ることがあると思います。今回は保護者とどうつながればよいかを考えたいと思います。



☆ 電話連絡について

- 時間帯など基本的なマナーに気をつける
- 内容は前もってメモで準備する
- 素早い連絡を心掛ける

正確な情報がないまま先に周囲から情報が入ると、保護者の不安が高まります。

- 伝える内容は…

- ①『いつ・どこで・何があったか』、または気になった様子を的確に伝える。
- ②先生の対応をどうしたか、そして子どもの様子はどうだったかを伝える。
- ③家で保護者にしてほしいことを伝える。(例えば「話をゆっくり聞いてあげてください」)

☆ 気をつけるポイント

- 保護者の気持ちに寄り添う

一方的に報告するのではなく、それを聞いた保護者の気持ちに目を向けましょう。保護者が話しやすい聞き方（傾聴）を心掛け、受け入れやすい言葉を選ぶことが大切です。(例えば「Aさんは～ができません」×→「～が苦手なようです」○)

- わからないことはあいまいに返答しない

「確認して連絡します」などと対応しましょう。時間がかかりそうな場合には、「いつ頃までに連絡します」ということも伝えておきます。

- その後の経過も伝える

一度の報告だけでなく、その後の様子も丁寧に伝えましょう。

保護者と関わるポイント～保護者とのやりとりは、信頼関係を築く大切な機会～

- 学校と保護者が「一緒に考えていく」というメッセージが伝わるように
- 1人で抱えず、わからないことは周りの先生や管理職に相談する

保護者と信頼関係を築き、同じ方向で子どもと関わっていくことが、子どもの安定や成長につながります。電話や連絡帳でのやりとりも大切にしたいですね。